

第二地銀協地銀の平成 22 年度中間決算の概要について

平成 22 年 12 月 16 日
(社) 第二地方銀行協会

当協会では、会員行の平成 22 年度中間決算の概要を別添のとおり取りまとめました。

以 上

【本件に関するお問合せ先】

企画部：中嶋

： 03 - 3262 - 2472

平成 22 年度中間決算の概要について

〔平成 22 年 12 月 16 日〕
〔(社) 第二地方銀行協会〕

会員行の平成 22 年度中間決算(単体)の概要は以下のとおり。

(注) 計数は平成 22 年 9 月末時点の会員行 42 行ベース。

1. 損益概況(業務純益:1,784億円、経常利益:879億円、中間純利益:555億円)

平成 22 年度中間決算の業務純益(1,784 億円)は、国債等債券関係損益の増益や、一般貸倒引当金繰入額が極めて少額になったことを主因に、前年同期比 + 227 億円、+ 14.6%の増益となった。

経常利益(879 億円)は、個別貸倒引当金繰入額の大幅な減少を主因に同 + 335 億円、+ 61.6%の増益となり、これを受けて中間純利益(555 億円)も同 + 71 億円、+ 14.7%の増益となった。

2. 業務純益の状況

(1) 資金利益(4,779 億円、前年同期比 + 4 億円、+ 0.1%)

資金利益(4,779 億円)は、ほぼ横ばい(前年同期比 + 4 億円、+ 0.1%)となった。

この内訳をみると、預貸金収支(3,949 億円)は、貸出金残高(平残)は増加したものの、預金残高(平残)が増加したことおよび預貸金粗利鞘が縮小したことから、ほぼ横ばい(同 4 億円、0.1%)となった。

また、有価証券利息配当金(863 億円)も横ばい(同 + 0 億円)となった。

(2) 役務取引等利益(324 億円、前年同期比 + 40 億円、+ 14.1%)

役務取引等利益(324 億円)は、投信窓販業務手数料および保険窓販業務手数料の増加等により、前年同期比 + 40 億円、+ 14.1%と、中間決算ベースで、平成 19 年度中間期以来 3 年ぶりの増益となった。

(3) その他業務利益(354 億円、前年同期比 + 129 億円、+ 57.3%)

その他業務利益(354 億円)は、国債等債券売却益の増加を主因に、前年同期比 + 129 億円、+ 57.3%の増益となった。

(4) 経費(3,668 億円、前年同期比 1 億円、0.0%)

経費(3,668 億円)は、横ばい(前年同期比 1 億円、0.0%)となった。

3. 不良債権処理の状況

不良債権処理額(612 億円)は、取引先の健全化に向けた取組みを一層強化したことから、前年同期比 316 億円、 34.1%の大幅な減少となった。

また、金融再生法開示債権(1兆7,057 億円(破産更生等債権、危険債権、要管理債権))は、破産更生等債権が最終処理の進捗および倒産件数の減少を主因に減少したことから、前年度末比 588 億円、 3.3%の減少となり、開示債権比率も 3.88%と、同 0.12%ポイントの低下となった。

4. 経常利益および中間純利益の状況

経常利益(879 億円)は、業務純益の増益および臨時損益の赤字幅縮小から、前年同期比 +335 億円、 +61.6%の増益となった。なお、臨時損益(904 億円の赤字)の赤字幅縮小(同 108 億円の赤字幅縮小)は、個別貸倒引当金繰入額の大幅な減少によるものである。

この結果、中間純利益(555 億円)は、同 +71 億円、 +14.7%の増益となった。

5. 単体自己資本比率(自己資本比率:10.33%、Tier 比率:8.04%)

単体自己資本比率(10.33%)は、自己資本額が中間純利益の増益等から増加したこと、リスク・アセットは法人向け貸出の減少を受けて微減となったことにより、前年度末比 +0.22%ポイントの上昇となった。

また、Tier 比率(8.04%)は、同 +0.27%ポイントの上昇となった。

6. 預金および貸出金(末残)

(1) 預金(57兆627億円)

預金(57兆627億円(末残))は、前年同期末比 +9,126 億円、 +1.6%の増加となった。預金者別にみると、要求払預金を中心に一般法人預金および個人預金とも増加した。この間、外貨預金は為替円高を背景に引き続き高い伸びとなった。

(2) 貸出金(43兆3,739億円)

貸出金(43兆3,739億円(末残))は、前年同期末比 +2,698 億円、 +0.6%のほぼ横ばいとなった。

以上

1. 損益の内訳

(単位：億円、%)

	平成22年度 中間期	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
業務純益	1,784	227	14.6
業務粗利益	5,459	173	3.3
資金利益	4,779	4	0.1
預貸金収支	3,949	4	0.1
有価証券利息配当金	863	0	0.0
役務取引等利益	324	40	14.1
その他業務利益	354	129	57.3
国債等債券関係損益	294	133	82.6
経費()	3,668	1	0.0
一般貸倒引当金繰入額()	6	53	89.8
臨時損益	904	108	-
個別貸倒引当金繰入額()	508	235	31.6
株式等関係損益	170	133	-
経常利益	879	335	61.6
特別損益	10	117	92.1
税引前中間純利益	889	218	32.5
法人税、住民税及び事業税()	161	30	22.9
法人税等調整額()	173	118	214.5
中間純利益	555	71	14.7

- (注) 1. 計数は、平成22年9月末現在の全会員行42行ベースである。
2. 預貸金収支 = (貸付金利息 - 金融機関貸付金利息 + 手形割引料) - 預金利息
3. 国債等債券関係損益 = 国債等債券売却益 + 国債等債券償還益 - 国債等債券売却損 - 国債等債券償還損 - 国債等債券償却
4. 株式等関係損益 = 株式等売却益 - 株式等売却損 - 株式等償却

2. 経営諸指標

(単位：%、%ポイント)

	平成22年度	
	中間期	前年同期比
貸出金利回 (A)	2.10	0.12
有価証券利回	1.23	0.06
資金運用利回 (B)	1.82	0.11
預金債券等原価 (C)	1.46	0.11
預金債券等利回	0.19	0.08
預金利回	0.19	0.08
譲渡性預金利回	0.20	0.17
経費率	1.27	0.03
人件費率	0.64	0.01
物件費率	0.56	0.01
税金率	0.06	0.01
資金調達利回	0.22	0.08
資金調達原価 (D)	1.48	0.10
預貸金利鞘 (A-C)	0.64	0.01
総資金利鞘 (B-D)	0.34	0.01
預貸率(未残)	74.82	0.70
" (平残)	74.43	0.97
預証率(未残)	24.27	0.85
" (平残)	24.33	0.74
コア業純ROA	0.48	0.00
コア業純ROE	10.62	0.26
コア業務粗利益OHR	71.01	0.59

- (注) 1. コア業純ROA = (業務純益+一般貸倒引当金繰入額-国債等債券関係損益) × (365/183) / (総資産平残 - 支払承諾見返平残) × 100
2. コア業純ROE = (業務純益+一般貸倒引当金繰入額-国債等債券関係損益) × (365/183) / (純資産平残 - 新株予約権平残) × 100
3. コア業務粗利益OHR = 経費 / (業務粗利益-国債等債券関係損益) × 100

3. 経費の内訳

(単位：億円、%)

	平成22年度		
	中間期	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
経費	3,668	1	0.0
人件費	1,848	16	0.9
給与・報酬	1,162	11	0.9
賞与	264	15	6.0
物件費	1,619	13	0.8

4. 不良債権処理額

(単位：億円、%、%ポイント)

	平成22年度 中間期	前年同期比 増減額/変化幅	前年同期比 増減率
貸倒引当金繰入額	452	319	41.4
貸出金償却	97	7	6.7
その他不良債権処理額	60	10	20.0
合計 (A)	612	316	34.1

与信費用比率 (X)	0.28	0.15	
預貸金利鞘 (Y)	0.64	0.01	
(参考) 預貸金利鞘 - 与信費用比率 (Y-X)	0.36	0.14	

- (注) 1. 貸倒引当金繰入額 = 一般貸倒引当金繰入額 + 個別貸倒引当金繰入額
+ 特定海外債権引当勘定繰入額 - 特別利益計上の取崩超過額
2. 与信費用比率 = 不良債権処理額 × (365/183) / 貸出金(平残) × 100

5. 臨時損益の内訳

(単位：億円)

	平成22年度 中間期	前年同期比 増減額
臨時損益	904	108
個別貸倒引当金繰入額	508	235
貸出金償却	97	7
株式等関係損益	170	133
株式等売買損益	10	159
株式等償却	159	27

6. 金融再生法開示債権

(単位：億円、%、%[°]ｲﾄ)

	平成22年度 中間期末	平成21年度末比	
		増減額/変化幅	増減率
破産更生等債権	5,708	828	12.7
危険債権	9,646	359	3.9
要管理債権	1,702	118	6.5
開示債権 A	17,057	588	3.3
正常債権	422,315	762	0.2
総与信 B	439,373	1,350	0.3
金融再生法開示債権比率 A/B	3.88	0.12	

7. リスク管理債権

(単位：億円、%、%[°]ｲﾄ)

	平成22年度 中間期末	平成21年度末比	
		増減額/変化幅	増減率
破綻先債権	2,161	549	20.3
延滞債権	12,975	81	0.6
3カ月以上延滞債権	123	63	33.9
貸出条件緩和債権	1,578	56	3.4
合計 (A)	16,838	587	3.4
貸出金 (B)	433,739	1,152	0.3
リスク管理債権比率 (A/B)	3.88	0.12	
貸倒引当金 (C)	6,850	396	5.5
特定債務者支援引当金 (D)	1	1	-
引当率 [(C+D)/A]	40.69	0.90	

8 . 単体自己資本比率

(単位 : 億円、%、%ポイント)

	平成22年度 中間期末	平成 21 年 度 末 比	
		増減額/変化幅	増減率
Tier (A)	26,053	777	3.1
Tier (B)	7,490	168	2.2
うち負債性資本調達手段等	4,744	164	3.3
自己資本総額 (C) = (A + B)	33,544	609	1.8
控除項目 (D)	65	9	16.1
自己資本額 (E) = (C - D)	33,479	600	1.8
リスク・アセット合計 (F)	323,792	1,324	0.4
うち資産(オン・バランス)項目	300,589	1,159	0.4
自己資本比率 (E/F)	10.33	0.22	
Tier 比率 (A/F)	8.04	0.27	

9 . 主要勘定の内訳 (未残)

(単位 : 億円、%)

	平成22年度 中間期末	前年同期末比 増減額	前年同期末比 増減率
貸出金	433,739	2,698	0.6
有価証券	140,194	7,156	5.4
国債	69,285	1,723	2.6
地方債	12,121	3,352	38.2
社債	33,411	2,816	9.2
株式	7,645	739	8.8
外国証券	11,740	758	6.9
その他の証券	5,919	824	12.2
商品有価証券	143	209	59.4
金銭の信託	433	56	11.5
コールローン	13,397	81	0.6
運用勘定計	594,678	11,077	1.9
繰延税金資産	3,657	563	13.3
資産 計	622,590	10,705	1.7
預金	570,627	9,126	1.6
譲渡性預金	6,886	457	7.1
コールマネー	369	57	13.4
調達勘定計	584,742	8,915	1.5
繰延税金負債	60	21	53.8
負債 計	594,359	8,857	1.5
純資産 計	28,230	1,848	7.0
負債及び純資産 計	622,590	10,705	1.7

以 上